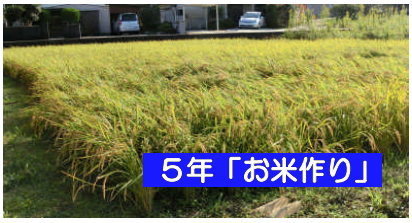
北小物語2018

平成３０年１０月１８日
平戸市立田平北小学校
学校便りＮｏ．（ ５２ ）
校長　曽川　和則

◇◇◇「いい顔」「いい声」「いい心」たゆみなく流れて清き「わが田平北小」◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆★☆彡 第５２話：「秋深し、北小は何をする人ぞ？～秋を楽しむ北っ子たち！～」の巻　☆★☆彡


５年「お米作り」

５月に種蒔きをした５年生のお米も秋の風を受けて黄金の稲穂を揺らしています。「実るほど、頭を垂れる稲穂かな」永田町の森さんのご指導のもと来週２３日（火）、いよいよ収穫です。

ふれあいタイム「ゲーム集会」

秋深し、北小は、何をする人ぞ？

通勤前、最近の私が車に乗り込み、まず初めにすることは、ワイパーを動かすことです。朝は車のフロントガラスに水滴がつく季節となりました。車内に写し出される温度計は２０度を下回っています。「秋深し、隣は何をする人ぞ？」これは、松尾芭蕉によって作られた俳句です。病気のため俳句会に出席できなかった芭蕉が床についているとき、聞こえてくる隣の人の生活音に「隣の人は、何をしているのかな～？」と思いを巡らせる句だと言われています。庶民の生活臭が漂う風流さが込められた句です。

さて、「秋深し、北小は何をする人でしょうか？」・・・１６日（火）朝、体育館では全校児童によるふれあいタイム：ゲーム集会が行われました。題して「にせものはだれ！？」。集会委員会の名演技ぶりが話題となった楽しいゲームです。大風呂敷で体が隠され、顔を出した４名の中で、実際に椅子に座っている人やバランスボールに乗っている人、塩の入った水を口に含んだ人を顔の表情や動きで見破るのです。４択４問のクイズに全問正解者は約２００人の中で、たったの２人。４年２組濵﨑あみさんと３年１組松田晄くんだけです。集会委員会のみなさん、楽しい企画をありがとう！

クイズパーフェクト

天高く馬肥える秋晴れのもと、校庭で元気よく遊ぶ北っ子たち。先週は、縦割班による共遊の時間で、１年生から６年生まで、異学年男女が同じ遊びに夢中になりました。上級生の綿密な計画のもと、遊びのルールやマナーも大切にしながら、子どもたち同士のふれあいの時間が流れました。上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生に憧れる・・・縦割班の中には、何とも言えない温かな空気が天高く広がっています。☆★☆★☆★

縦割り遊び

学習にも心地よい秋の風が吹き抜けます。２年生の子どもたちは、そんな秋風を誘って「町たんけん」に出かけました。お気に入りのお店や施設等を訪問し、疑問に思うことをたくさん質問したりして、田平の町をもっともっと大好きになりました。☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

２年「町たんけん」

１５日（月）の全校朝会では、北っ子たちが大活躍の小陸競表彰式が行われました。賞をもらった人もそうでない人も北っ子は全力投球。ライフカントリーで魅せてくれた「北小魂」を今後も磨いていきます。

小学校陸上競技大会表彰

「秋深し、北小はがんばる子どもたちでいっぱいです。」日増しに寒さも風も厳しさを増していきますが 「北っ子は、北風の子！」 今日も元気に実りの秋を楽しみます！